



新機能と変更情報

- [新機能と変更情報 \(1 ページ\)](#)

新機能と変更情報

この章では、『Cisco Nexus Dashboard Data Broker 構成ガイド、リリース 3.10.1』に記載されている新機能および変更された機能に関するリリース固有の情報について説明します。

表 1: 新機能および変更された機能

| 特長 | 説明 | 参照先 |
|---|--|---|
| Cisco Nexus Dashboard および Cisco APIC 上のサービスとしての Cisco Nexus Dashboard Data Broker | Cisco Nexus Dashboard Data Broker は、Cisco Nexus Dashboard (ND) の一部となり、NetOps がプログラムによって完全なフローの集約を管理し、フィルタリングし、カスタム分析ツールに転送できるようになりました。 Cisco Nexus Dashboard Data Broker は、Cisco APIC でホストできます。ホスト APIC は、Cisco Nexus Dashboard Data Broker によって自動検出されます。 | Cisco APIC および Cisco Nexus Dashboard でのサービスとしての Cisco Nexus Dashboard Data Broker |
| Cisco Nexus 3550-F Fusion L1 プラットフォームのサポート | Cisco Nexus Dashboard Data Broker の GUI から、Cisco Nexus 3550-F Fusion L1 プラットフォームを光タップスイッチとして管理および設定できます。 | タップデバイス および タップ構成 |

| 特長 | 説明 | 参照先 |
|---|--|--|
| 実稼働スイッチとしてのCisco Catalystスイッチのサポート | Cisco Catalyst 9300 シリーズスイッチを実稼働デバイスとして直接オンボードできます。これらは、ローカル スパンとして設定できます。 | デバイスのスパン |
| Cisco Digital Network Architecture Center(DNA-C)との統合 | DNAC との Cisco Nexus Dashboard Data Broker コントローラの統合により、エンタープライズスイッチのスパンを管理します。 | Cisco Nexus Dashboard Data Broker と Cisco DNA Center の統一 |
| Cisco Nexus Data Broker から Cisco Nexus Dashboard Data Broker へのブランド変更 | リリース 3.10.1 以降、Cisco Nexus Data Broker (NDB) は Cisco Nexus Dashboard Data Broker に名前が変更されました。ただし、GUI およびインストールフォルダ構造と対応させるため、一部のNDBのインスタンスがこのドキュメントには残されています。NDB/ Nexus Data Broker/ Nexus Dashboard Data Broker という記述は、相互に交換可能なものとして用いられています。 | このドキュメント全体。 |

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。